

飲料水兼用耐震性貯水槽

飲料水兼用耐震性貯水槽は地震に極めて強い材質（鋼製等）で、避難場所となる学校の校庭や出先機関等の地下に埋設されており、水道管路と直結させることにより、貯水槽内の水を絶えず循環させ、常に新しい水を貯え、地震時は、緊急遮断弁により瞬間的に水道管と遮断することにより非常時の飲料水確保を行うものである。

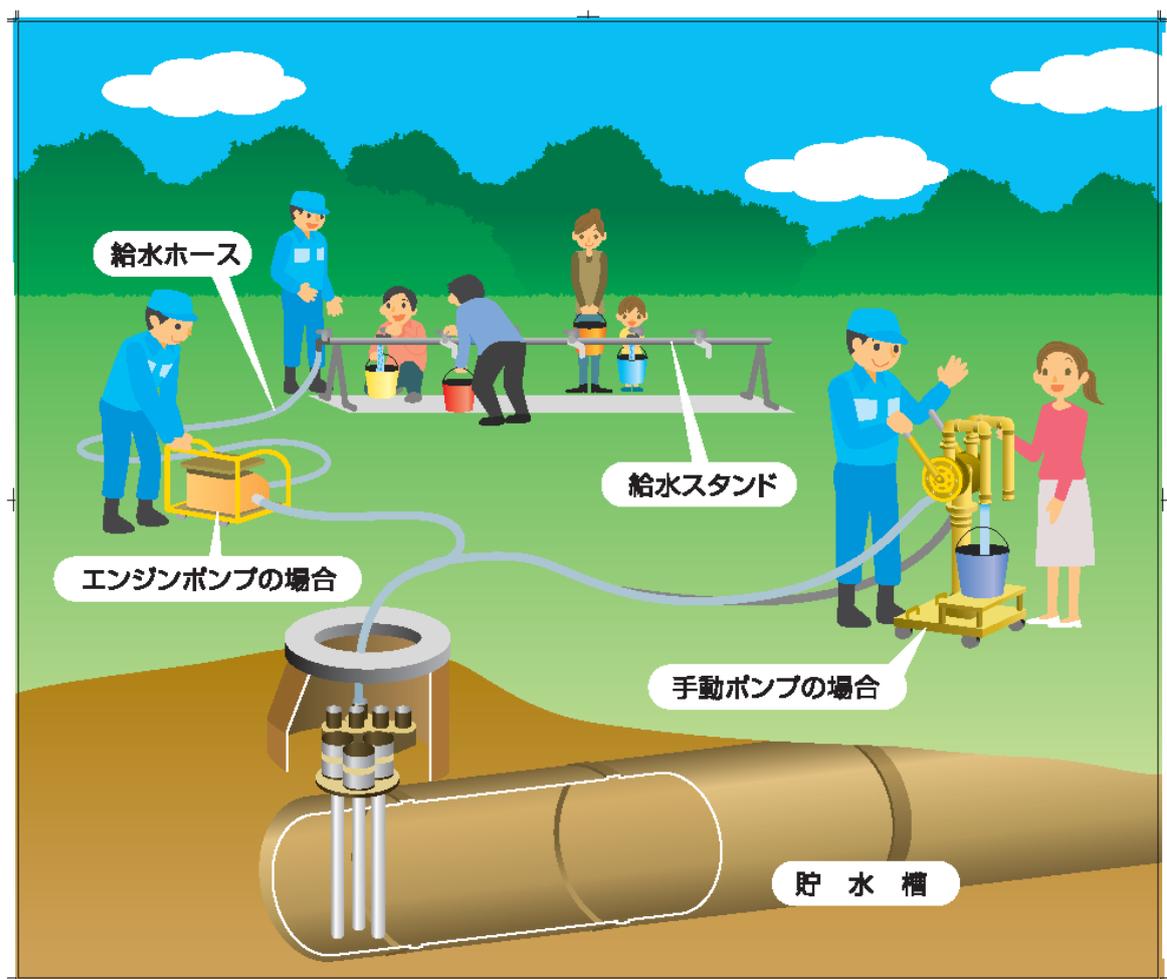
非常時は、ポンプ等の取り付けにより給水活動を行う。

1 貯水槽について

円筒形ダグタイル铸铁管で水道管の水減圧により緊急遮断弁が作動し貯留する仕組みとなっており、水圧がもどれば自動的に復旧。（平常は、水道管と直結しておりタンク内の水は入れ替わる）

2 活用について

災害時には隣接の倉庫に収納してある給水スタンド等を使用し、自主防災会や消防関係者が飲料水等に活用する。



《飲料水兼用耐震性貯水槽の設置状況》

年度	設置基数	設置場所			水量
8	1	東雲町一丁目	船場小学校	校庭	100 t
9	2	御国野町御着 勝原区勝原町	御国野小学校 西部備蓄倉庫	校庭 駐車場	
10	1	田寺六丁目	安室小学校	校庭	
11	1	飾磨区阿成鹿古	高浜小学校	校庭	
12	1	白浜町宇佐崎中二丁目	灘市民センター	駐車場	
19	2	夢前町前之庄	夢前事務所	駐車場	80 t
		安富町安志	安富事務所	駐車場	60 t
20	1	香寺町香呂	香呂小学校	校庭	100 t

(参考)

災害時の水資源の確保として、飲料水については水源池、配水池等からの運搬給水により水資源を確保することを原則とするが、水源池、配水池から離れた場所については、飲料水兼用耐震性貯水槽を設置するとともに、小中学校の既設の受水槽を改修し、容易に取水できるようにしている。

生活用水については、小中学校等のプールの水を活用する他、災害時に地域住民に提供できる井戸を事前に登録していただく「災害時市民開放井戸登録制度」を積極的に進めている。

《水資源確保の体系》

